
家庭の王様

マンゴージュース

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

家庭の王様

【著者名】

NO4947

【あらすじ】 マンガージュース

高校受験を控えた中学生の「僕」は受験生というだけで家族が「僕」に気をつかうのがおもしろくて仕方ない

そんな少年と家族のちょっと心が温まるはなしです

田を開けると塾長が立っていた

「居眠りするんじゃないぞ、夏休みが勝負なんだからな」

うとうとと問題を解こうとするが、よだれでじんじんで問題が読めない
これほどましかやねつ、授業開始からまだ20分も立っていない

今日はこのあと英語と社会がみつちりの0分ずつある

ちりと隣のやつをみると、そいつはもうプリントの裏にむしゃかか
つていた

やばい、遅れを取り戻す」と問題に向き直る

受験生ってほんとに大変でしんどくて嫌になる

でも「受験生」ってこいつは書きはなかなか便利

家でもテレビのチャンネルは好きなのに変えられる

チャンネルを変えられてブーブー文句を言う妹をお母さんがなだめる

決して「お兄ちゃんは受験生なんだから、我慢してね
なんてストレートには言わないけど

僕のお兄ちゃんが受験生だった時は彼の家でのわがままぶりに
かなりいろいろした

まるで王様だった

「あこののよひこせなならなこぞ」って思つていた

でもいざ自分が受験生になると、その特権を使いたくなるやつぱり僕もお兄ちゃんみたいになつてゐる

「受験生は親の支えがあつてこそ・・・」みたいなことを塾長が塾の懇談で言つたもんだからお母さんは全力で僕を支えてくれる絵

今日は家で急にキしてみた

夕食はいらないと言つたりそのくせ夜中にピザートを食べたりソファーで寝たりした

両親は勉強の疲れだと思つてくれる

いつしか僕は「受験生」を楽しみだしていた

そのおかげかわからないけど、第一志望の公立高校におちた

結局僕のじへ一般的な私立高校行きとなつてしまつた

もつとレベルの高い私立を受けておけばよかつた

学年でも頭のいいほうだった僕は普通レベルの私立に通つことが出来ない

これから人生で一番の青春時代をあの高校で過ごすっていつのか

お先真っ暗、僕はノイローゼ寸前だった

ノイローゼがどんなものか知らないけど

そんな僕をみかねたお父さんが「映画に行こう」「釣りに行こう」とか
「釣りに行こう」とか誘ってきた

僕は哀れに思われているようでは逆にもつといらした

最悪の春休み

今頃友達は塾の「合格祝賀会」に参加してるんだろうか

僕は部屋で漫画を読みふけっていた

「優君、お母は…………？」

お母さんが呼んだ

「いらっしゃいよ

まるで引きこもりの少年だ

ちゅうと前までは王様だったってのになあ

すると、お母さんがいきなり階段を駆け上がって僕の部屋のドアを

勢によくあけて、叫んだ

「いい加減にしなさい！……！」

久々に聞いたお母さんの「いい加減にしなさい」

「お母さんに向が起ったのか分からないうが、
たぶんギアチョンジしたんだろう

「受験生ママ」から「僕のお母さん」へと

田舎娘のお母さんは都会のお受験戦争を知らない

だからただただ塾の先生の言つとおり、僕を支えたつもりだったん
だろ？

お母さんほこの一年、何だか僕はほつとした
怒られてこるので、何だか僕はほつとした
懐かしくさえ思えた

もう、受験は終わつたんだなあ

新しい高校の入学式まであと一週間

まだ気分は冴えないけど、僕は立ち直れそうな気がする

一歩、踏み出せぬ気がする

(後書き)

自分の受験生時代を思い出して書きました

さわやかだったり、あたたかな気持ちになつてもらえた
幸いです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0494z/>

家庭の王様

2011年12月1日22時52分発行